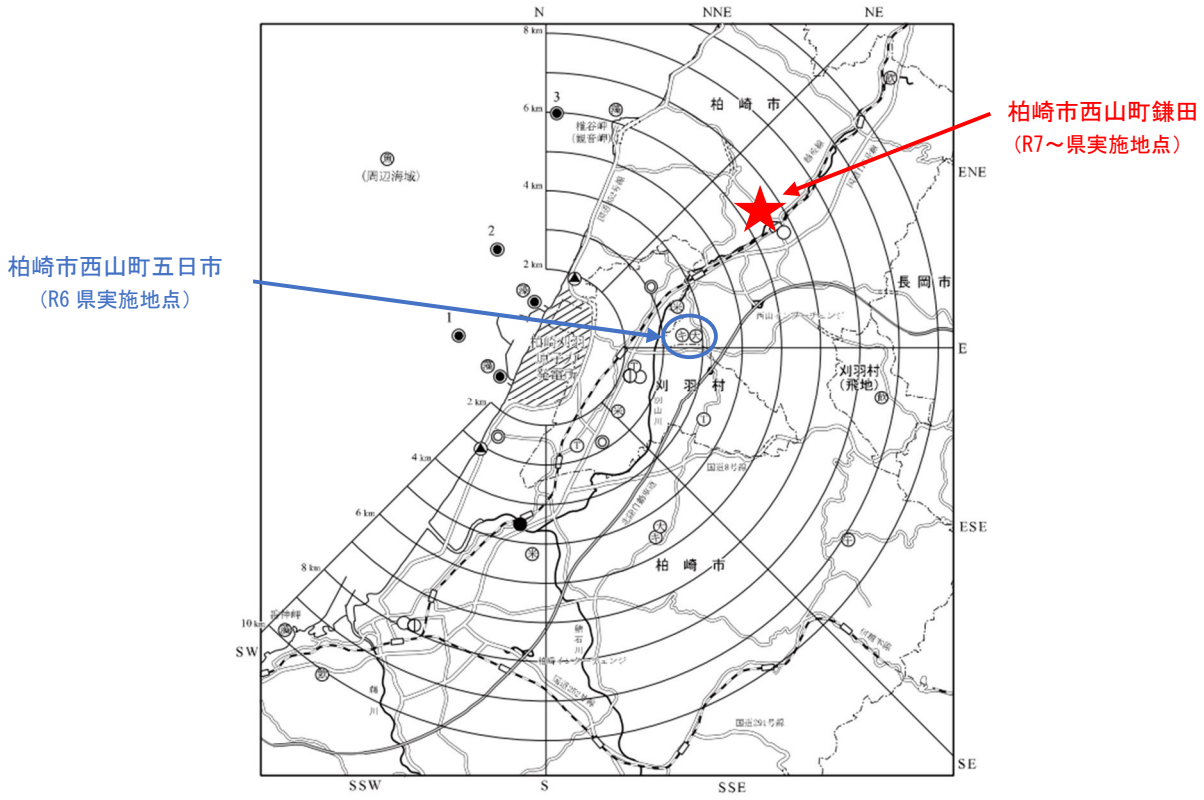
資料 No. 2-1（参考）

令和７年３月 26 日
放射線監視センター

環境試料（キャベツ及び大根）の採取依頼先の変更について

令和６年度に核種分析用の農産物（キャベツ及び大根）を購入していた柏崎市西山町五日市の生産者から、令和７年度以降の試料提供の辞退の申し出があった。代わりの生産者を探すため、農業協同組合、県及び市村の関係者から情報収集したところ、柏崎刈羽原子力発電所の北東方面においてキャベツ生産者２者、大根生産者１者の情報提供があった。そのうち、柏崎市西山町鎌田の生産者の方はキャベツと大根を栽培しており、どちらも試料提供可能であることが確認できた。県はこれまでの監視調査で、葉菜と根菜とを同一の地点で採取してきた経緯があることから、どちらも採取可能である当該地点へ採取地点を変更する。

なお、参考までに、新たな地点の畑土壌の核種分析を行い、現在調査している地点の結果と比較した。



◎採取地点土壌の核種分析結果

採取地点	採取年月日	Cs-137（Bq/kg 乾）(注	Sr-90（Bq/kg 乾）
柏崎市西山町五日市 （R6 キャベツ・大根畑）	R6. 1.11	5.8	0.77
柏崎市西山町鎌田 （R7～ キャベツ・大根畑）	R7. 1.14	0.75	0.087

（注） 機器分析の結果、検出された人工放射性核種は Cs-137 のみであった。